様式第２号（第１０条関係）

会議記録

附属機関の名称	熊谷市環境審議会
開催日時	令和７年３月２１日（金）午前１０時～午前１２時
開催場所	熊谷市江南庁舎　３階　大会議室
出席者	【委員　計１３名】 須田知樹委員（会長）、新井千明委員（副会長）、 児島正一郎委員、小島正泰委員、川田勝巳委員、江原仁委員、 依田英世委員、出井哲司委員、八木伸一委員、後藤素彦委員、 髙橋孝子委員、姉﨑京子委員、山下弘晃委員 【事務局　計７名】 環境政策課　本堂課長、柳澤副課長、清水主任 環境推進課　馬場課長、金子副課長 第一水光園　遠藤所長 環境美化センター　新島所長
傍聴人	なし
問い合わせ先（所管課）	環境部環境政策課（江南庁舎２階） ℡　048-536-1547（内線 203）
内容	【議題】 １　委嘱状交付について ２　会長・副会長の選任について ３　熊谷市環境白書（令和６年度）（案）の報告 ４　その他 【内容】 １　委嘱状交付について 委員へ委嘱状を交付 ２　会長・副会長の選任について 須田委員を会長へ選任 新井委員を副会長へ選任 ３　熊谷市環境白書（令和６年度）（案）の報告 各委員からの意見は以下のとおり （１）白書でマイクロプラスチック汚染問題について取り上げると良いと思う。 （２）星川に人工芝が置かれていたが、これはマイクロプラスチックを出していることとなると思う。市の施策で行う場合には気を付けてほしい。

	（３）2050 年でカーボンニュートラルを目指すうえで緑化による CO2 吸収量が少ないように思うので、緑を増やすことを検討してほしい。 （４）PFAS について、熊谷市の動向を教えてほしい。 【回答】埼玉県の計画に基づき、埼玉県で測定しており、指針値には到達していないことは確認している。 （５）熊谷市地域公共交通計画によって削減された二酸化炭素の排出量が算定できれば良いのではないだろうか。 （６）森林で CO2 を吸収するのには限界があると思う。二酸化炭素を吸収するベンチャー企業も出てきているようなので、動向を見守りたいと思う。 （７）ブルーカーボンにも注目しても良いのではないか。 （８）市内の環境団体を紹介するページを設けても良いと思う。 （９）将来のために、特に若い方に環境問題に取り組んでもらいたいと思う。 （１０）ムサシトミヨの広報を積極的にするべきだと考える。 （１１）熊谷市指定記念物・天然記念物である樹木が１本無くなっているため、なぜ削除されたのかを白書に記載してほしい。 （１２）ビオトープの記載について、一覧表が削除されているが、削除はしないほうが良いと思う。 ４　その他 土砂条例の改正について説明